



- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

想いのつながる学校づくりに努めます—新しい年度を迎えて—

校長 辻 成一郎

少し前のことになりますが、春休みに入ってから、アメリカの第 94 回アカデミー賞の授賞式で、日本の濱口竜介監督が作った映画「ドライブ・マイ・カー」が、「国際長編映画賞」を受賞し、大きな話題になりました。英語でセリフが語られない映画の中で最も優秀な作品として認められたことになりました。素晴らしいことでした。

同じ授賞式では、他にも大きな話題になったことがありました。たとえば、難病の妻の髪の毛のことをからかわれて、プレゼンターを殴ってしまった主演男優賞受賞のウィル・スミスのふるまいです。「よくやった」とか「仕方がない」とか「理由があっても暴力はよくない」とか、様々な意見が交わされました。後にスミス氏は、謝罪し、アカデミー賞授賞式への 10 年間立ち入り禁止が決められました。この結論にも賛否はいろいろあるでしょう。

私は、そのアカデミー賞で作品賞と脚色賞、助演男優賞を受賞した「コーダ あいのうた」を先日見ました。「コーダ」は、英語で「CODA」と書き、本当は、「Children of Deaf Adult」の略で、「耳の聞こえない親をもつ子ども」という意味です。

耳の聞こえない両親と兄をもつ、耳の聞こえる少女の物語です。

両親や兄のことをからかわれて悩み、友達のできない自分の悩みを理解できない両親に反発し、それでも、家族のために、毎日登校前に、父と兄の船に乗って家業である漁に出かける主人公ルビーの姿が生き生きと描かれています。

彼女の生きがいは、「歌うこと」。どんな時も、一人で歌うことで心の平安を保っています。

そんな彼女の歌の才能を認め、現代で最高のポピュラー音楽が学べるバークリー音楽大学への進学を勧めてレッスンをしてくれる先生と、彼女がいないと獲れた魚を売りさばくこともできない父と兄、彼女以外の健聴者(耳に障害のない人たち)とは付き合いおおうとしない母といった家族の間で、自分の人生をどうしていくのかを迷い悩みます。



ルビーだけが声を出して手話で家族と語り合うシーンが随所であり、喧嘩し対立しながらも、しっかりと言葉(手話)でつながり合っている家族の姿がだんだんうらやましくなってきます。

そして、ルビーの心に響く歌声と、泣き笑いの表情で繰り出される最高の想いをこめた手話が、深い感動を与えてくれました。

家族を愛する想いは同じなのに、家族をからかわれて、片やウィル・スミスは相手を殴ってしまい、片やルビーは想いの溢れる歌や言葉で人とつながっていく。男性と女性、現実と映画の違いはあれど、考えさせられるものがたくさんありました。

ルビーの未来は映画で描かれていません。様々な苦難がついて回り、簡単にハッピーエンドになることはないでしょうが、暴力で物事を解決しようとする彼女は、大切な歌と家族があれば、きっとしあわせに生きていくことができると思います。

今年度から、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」をテーマに「杉並区教育ビジョン2022推進計画」が作られました。

その中には、次の 4 つの基本方針が定められています。

1. すべての子どもたちに学び続ける力を育む豊かな学びの機会を創ります
2. 一人ひとりの生きがいにつながる生涯にわたる学びを支援します。
3. 学び合いと教え合いが広がる教育環境の整備・充実を図ります
4. 区民の学びを広げる人づくり・仕組みづくりを進めます。

これをもとに、松溪中学校でも、生徒同士がつながり合い、たくましく生きる力と、学び続ける力を得て卒業していけるように、今年も様々な教育活動に取り組み、新しい学校づくりに努めてまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

今年度の学校経営計画から

今年度の松溪中学校の学校経営計画から、「杉並区教育ビジョン2022推進計画-基本方針-」に絡めて、新たに取り組んでいこうと考えている教育活動について、述べさせていただきます。

1. 教育相談コーディネーターパイロット校への指定

本校は、本年度新たに、教育相談コーディネーターパイロット校に指定されました。それに伴い、今までの取り組みを整理し、教育相談体制の充実を図り、以下の活動を行います。

① 校内委員会の充実

今までの特別支援教育について情報交換を行い、方針や具体的な対策の検討を行う校内委員会を拡充し、様々な課題により学校生活への適応に苦しみ、登校に課題を抱えて苦しむ生徒への情報交換や対応に特化した教育相談校内委員会を隔週で開催して、対策の充実を図ります。教育相談コーディネーターを中心に、より組織的に対応できるようにしていきます。

② 校内適応指導教室(仮称)への取り組み

登校や授業への参加に課題を抱える生徒への対応の選択肢の一つとして、「学びの教室」や「さざんか教室」などの外部機関の他に、校内での適応指導教室を開設します。学習支援教員や学校支援本部などの協力による学校ボランティアがスタッフとして対応します。教室は、「学びの教室」や新たに設ける「自習室」(旧コンピューター室)をあてます。集団が苦手な別室で静かに学習したい生徒のオンライン学習や自学を応援します。

2. 地域と学校の協働活動の充実

本年度より、経営支援部を置いて、新たに校内組織を改め、校内研修による授業力向上・人材育成や広報・情報管理の充実を図ります。それを土台に、地域と学校の協働活動のより一層の充実を図ります。今年度具体的に実施していくのは以下の通りです。

① 放課後学習教室の実施

通常の授業だけでは、基礎学力の定着が難しい生徒を対象に、週2日30分程度の放課後学習教室を実施します。基礎学力に課題を抱えていると学校が判断した中から、保護者と生徒が共に参加を希望し、休まず参加できる生徒を対象に行います。副校長を窓口として、学校支援本部や学校ボランティアで対応します。

② 「いのちの授業」の一環としての乳幼児との「ふれあい教室」

全学年で、年2回行う計画やシステムの整備を進めている「いのちの授業」の2学年の分野で、乳幼児との「ふれあい教室」を実施します。1学年で学んだ生命の誕生の学習をもとに、荻窪児童館との連携で、学校支援本部・青少年委員・PTA・民生委員などの方々の協力を得て、1歳未満の乳幼児の親子とのふれあい体験を行います。乳幼児の保護者から、出産や育児の実体験や感想を聞き、乳幼児と実際にふれあうことを通して、自らの生い立ちをふり返り、自らも含めた命の大切さを実感する学習です。

これらの活動に必要な「学校ボランティア」や「ふれあい教室」に参加して下さる「乳幼児親子」を随時募集しています。希望される方や紹介して下さる方がいらっしゃいましたら、松溪中学校に、ご連絡ください。

また、この他に、今までで行ってきた、「いのちの授業」や地域や小学校との連携行事、地域人材を活用したキャリア教育などは、新たな形を模索しながら実施して参ります。ご理解ご協力のほどをお願いいたします。

教育活動の紹介

1年生、部活動仮入部始まる



1年生の部活動仮入部が始まりました。各部活動の2・3年生の先輩たちは、1年生の動向に一喜一憂しています。特に新入部員によって大会参加が左右される部にとっては重要な時期です。1年生は可能な限り、様々な部活動を見学、体験をし、長く続けられる部活動を見つけてください。

1年生、校内探検

松溪中学校4月の恒例行事になっている「1年生校舎めぐり」。小学校時代とは違い、授業によって教室移動があることから、1年生は覚えることが多くなっています。迷ったら、周囲の先生方にたずねてください。



松溪中学校を支えてくださっている方々の紹介

学校運営協議会

学校運営協議会（CS：コミュニティ・スクール）は、地域や保護者と学校との組織的・持続的な連携・協働体制を構築するために設置されています。学校内では解決できない様々な課題を地域と連携しながら、解決を目指していく会です。

メンバーは学識経験者、校長推薦、公募者で構成され、年間10回実施されます。学校運営協議会で話し合われた内容は、本校のホームページに掲載しています。また会議はどなたでも見学することができます。

今年度の開催日時は以下になります。開始時刻はいずれも16時からです。

第1回	5月23日(月)	第6回	11月14日(月)
第2回	6月20日(月)	第7回	12月19日(月)
第3回	7月11日(月)	第8回	1月16日(月)
第4回	9月12日(月)	第9回	2月13日(月)
第5回	10月17日(月)	第10回	3月6日(月)

学校運営協議会の方々

会 長	檜枝光太郎さん
職務代理	恵羅 博さん
委 員	石井 良典さん
委 員	望月航二郎さん
委 員	山岸 禮子さん
委 員	村木 由紀さん
委 員	渡邊 麗さん
委 員	目黒 由美さん
委 員	飯島 裕子さん
委 員	佐藤 伸彦さん

学校支援本部

学校支援本部はまさに「縁の下の力持ち」。いまや松溪中学校の行事には欠かすことのできない心強いチームです。昨年度は、運動会での写真及び動画撮影、そしてYouTubeの動画配信（生徒・保護者限定配信）を行っていただきました。合唱コンクールにおいても同様に動画配信を行っていただき、コロナ禍において保護者の皆さんが見学、鑑賞できないところを補ってくださいました。本当にありがとうございます。

今年度も検診等のお手伝い、各種検定の主催、行事の撮影等に加え、卒業生等の講演の企画や放課後学習教室、学年行事等のお手伝いをさせていただく予定です。

今年度の校内にて実施する各種検定の日程は以下のようになります。

漢字検定	6月17日(金)、10月21日(金)、1月20日(金)
英語検定	5月27日(金)、10月7日(金)、1月13日(金)
数学検定	8月27日(土)、11月12日(土)

PTA

松溪中学校PTAの皆さん方は、学校に寄り添う姿勢で運営をされています。一昨年度、昨年度とここ2年間はコロナ禍において、活動範囲が縮小されてしまいました。

今年度も感染拡大の様子を見ながらの活動になるかと思われませんが、PTAの皆さんが松溪中学校に対し、温かく見守っていただいているからこそ、コロナ禍においても生徒の皆さんが安全に生活できていると感じています。いつも感謝です。ありがとうございます。

令和4年度本部役員の方々

会 長	菅野 雅子さん		
副会長	大木 智子さん	大野 知奈さん	高橋 直子さん
書 記	杉本奈穂子さん	水石 圭子さん	
会 計	武井 広子さん	本橋 智恵さん	
会計監査	猪原 悦子さん	滝澤美智子さん	

コロナ禍の中での学校生活について

コロナ禍での生活が3年目になりました。マスクをしながらの学校生活や「黙食」での給食の時間も珍しくない光景になっています。現在は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は解除されてはおりますが、油断はできません。

コロナ禍においての松溪中学校では、どのような学校生活を送っているのかをお知らせ致します。ご家庭においてもご理解、ご協力を得ることもありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

1 感染拡大予防対策

- (1) 登校前には必ず検温等の健康チェックを行ってください。登校した際には担任が健康観察を行います。体調が芳しくない場合や発熱がある場合は、無理せずに休養してください。
- (2) 校内において、「マスクの着用」、「三密の回避」、「手洗いの励行」を指導します。
- (3) 授業終了後、用事のない場合は速やかに下校するよう指導します。

2 学習活動等について

- (1) 感染症対策を講じながら、飛沫感染の可能性が高い学習活動を精選しながら、活動をして参ります。
- (2) 欠席等の場合は、オンライン授業に参加することができます。
- (3) 部活動は感染症対策を講じ、時間・内容を吟味し活動します。
- (4) 中学校体育連盟主催の公式戦等については、感染症対策を講じながら、参加する意向です。

3 学校行事・公開について

- (1) 5月12日(木)から一泊二日で予定しております1年生「アド・トップ」スクール(山梨県河口湖町)については、実施する方向で準備を進めています。
- (2) 6月4日(土)に予定しております運動会については、実施する方向で準備を進めています。ただし、感染状況によっては、昨年度と同様に保護者の方の参観は控えていただく可能性があります。その際には、後日動画配信(YouTube限定公開)を行う予定です。
- (3) 6月24日(金)に予定しております音楽鑑賞教室(2年)は、杉並公会堂にて行います。現時点では実施の方向で準備が進んでおりますが、感染状況によっては、中止になる可能性があります。詳細が分かり次第、ご連絡いたします。
- (4) 7月6日(水)からの職場体験(2年)は、現在、実施の方向で準備を進めておりますが、今後の感染拡大状況によって、中止になる可能性があります。
- (5) 3年生の修学旅行など、2学期以降の行事については、その時の状況を鑑み、実施もしくは延期等の判断をして参ります。

4 学校給食について

- (1) 従来通り、生徒が対面する喫食形態を避け、会話を控えさせます。
- (2) マスクは喫食直前にはずし、食後にすぐに装着させます。喫食中の会話は避けさせ、特にマスクをはずしている際の会話は厳に慎むよう指導いたします。

5 家庭における感染対策へのお願い

- (1) ご家庭においても「3密」の回避、正しい手洗い、咳エチケット及び検温等の健康観察を徹底してください。
- (2) 家族に何らかの症状が見られる場合は、「杉並区受診・相談センター」へ相談の上、同居家族がPCR検査等を受けることになった場合は、生徒を無理させず休養させ、学校にご連絡ください。
- (3) 生徒が感染者や濃厚接触者となった場合は、遅滞なく学校へ連絡ください。
- (4) 十分な換気をしてください。
- (5) ゴールデンウィーク等の長期休暇に感染拡大する傾向があります。外出する場合には、十分気をつけてください。